

1年1組 女子

私は認知症について学びさまざまなことが心に残りました。それは、認知症は、認知の力が低下する病気ということが分かりました。

私たちにできることを考えました。強い口調で早口で言っても、認知症の方は、一気に覚えられないということが分かりました。ですから、優しく丁寧に教えることが大切だと思いました。

また、普段できていたことができなくなって生活に困ると思います。私たちにできることを少しでも手伝うといいと思いました。私の住んでいる菊鹿町は、近所の人と接する機会がとてもよくあります。だから地域の人たちで支えていけたらいいと思います。

道ですれ違った時に挨拶をしたり、「どこに行くんですか」と尋ねてみたりして、道が違っていたら案内をしたりしていきたいです。

私は、これから地域の一員として生活していきたいです。困っている人がいたら、優しく声を掛けて手伝ったり、地域の人が安心して生活できるように、自分ができることから行動していきたいです。